

「多様性の時代」

校長 柴野 貴史

先日、令和6年度「少年の主張」渡島地区大会が松前町で開催され、3年篠田涼帆さんが本校を代表し、この大会に参加してきました。見事、最優秀賞に輝き、9月6日に行われる全道大会に参加することになりました。

「多様性の時代」とは、この大会で彼女が発表したタイトルです。全文を紹介できればいいのですが、要約させていただきます。

彼女には、苦手な言葉があるそうです。それが「普通」という言葉だそうです。普通はそんなことしないよ、普通では考えられないなと言われる。そのたびに、何をもって普通と言えるのかとよく考えるそうです。

苦手な理由の三つを述べながら、普通とは、人を安心させたり否定したりすることができる難しい言葉であると。そして、普通と言った人の価値観を押しつけることになると。人には能力に差があり、考え方の違いは、全ての人にあると言うことが普通である。それが当たり前であるということを様々な視点で話されていました。

さらに、普通と同じくらい「多様性」という言葉も難しいと。様々な例を挙げながら、多様性の境目はどこにあるのだろうと問題提起し、多様性とは考え方や能力に違いがあっても、面白いと認められることだと主張しました。

違う人の違う考え方や出来ること出来ないことも、面白いと認め合うことができれば、社会がもっと豊かになるのではないか。人間には性別や見た目だけでなく、考え方や能力にも多様性があり、それを普通という一言でまとめてはいけない。多様性とは、違うところも面白いと認められるものと主張しました。

普通について見つめ直して、多様性を認めてこそ、生きやすい時代になるとは思いませんかと投げかけ、主張を締めくくりました。

彼女の日頃抱いている思いや考えをもとにした中学生らしい鋭い感性と素直な思いに、観衆は引きつけられるとともに、溢れる熱意と説得力ある話し方に魅了されました。



緑の羽根 ～ 緑あふれる環境をつくろう。 ～

5月上旬に緑の羽根募金を実施しました。
全校生徒から集まった善意は、生徒会書記局により町役場に届けられました。集まったお金は森林や緑を豊かにするために使われます。

先日、町よりプランターが届きました。毎日の学校生活に潤いを添えています。



スキルアップ・プロジェクト ～理科大生が応援にきてくれました。

5月29日(水)に第2回スキルアップ・プロジェクトを実施しました。

今年は、理科大生によるサポート2回を含め、全10回の開催となります。中学校と大学が連携して、長中生の学力や学習意欲の更なる向上を目指します。理科大生ボランティアのみなさん、ご協力ありがとうございました。



体育大会 ～ ご声援ありがとうございました。 ～

5月31日(金)に体育大会を実施しました。
今年は、これまでの学年対抗から縦割り対抗での実施に変更しました。先輩と後輩が手を取り合って、どのチームも持てる力を精一杯発揮しようとする姿勢がみられました。
ご声援ありがとうございました。



7月の予定

1日(月) 保護者面談①

2日(火) 保護者面談②

3日(水) 職員会議

4日(木) 町研サークル

5日(金) 保護者面談③、SC 来校

7日(日) 渡島中体連柔道

8日(月) 保護者面談④

9日(火) 保護者面談⑤、着物教室

10日(水) 非行防止教室、校内研修4

12日(金) 保護者面談⑥

17日(水) 第1回定期テスト、会議日

23日(火) 夏季休業前集会

24日(水) 夏季休業～8/22

27日(土) 吹奏楽コンクール

